

# 授業にピタッ！とデジタル教科書

公民

## ③ 経済の学習でのデジタル教科書活用例 ～資料を相互に関連づけてさらに理解を深める～

国立市立国立第一中学校 主任教諭 古田 一博(ふるた かずひろ)

### ◆単元名：第4章 私たちの暮らしと経済 2 企業の生産のしくみと労働

「③株式会社ってなんだろう」(教科書 pp.140・141)

### ◆本時の目標：

株式会社の仕組みを理解すると共に、身近な会計の例から信頼性が確保された会計情報が果たす役割について考察し、理解を深める。

### 《本時の展開例》

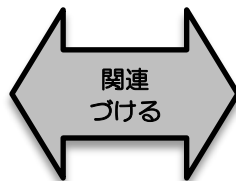
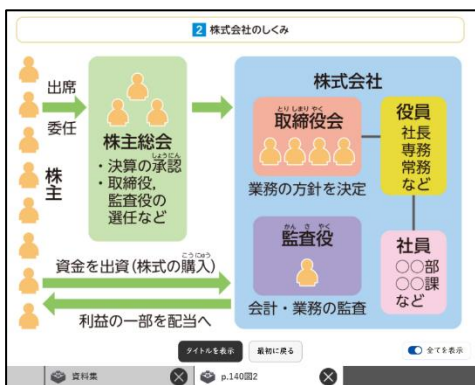
	学習活動	留意点	デジタル教科書・教材
導入 (5分)	【問】これまでに自分で会計を行ったり、会計を見たりしたことがあるだろうか。会計の記録や報告は、何のためにやるのだろうか。	・修学旅行の会計記録や、家計簿の記載、部費の会計、町内会の会計など、身近な場面にさまざまな「会計」があることに気づかせる。	
展開 (35分)	<p>●企業にも会計があることを確認する。表計算ソフトで「損益計算書」の売上原価や売上高などの数値を変え、「当期純利益」の変化から黒字や赤字になることを確認する。</p> <p>●資料②「株式会社のしくみ」から、企業における株主総会の役割や、株式の購入で資金を出資していることを確認する。</p> <p>●「財務諸表」が株式を購入する際の重要な判断材料になっていることにつなげる。</p> <p>【問】企業の「財務諸表」が公開されなかったり、間違いや粉飾があったりすると、どうなるだろうか。</p> <p>【問】「会計情報」や資料⑤、⑥から、企業の社会的責任(CSR)とはどのようなものか説明してみよう。</p>	<p>・教科書の資料④「損益計算書」と同じ数値を、あらかじめ数式を組んだ表計算ソフトに入力しておき、具体的な場面を生徒と想定しながら、「当期純利益」の変化を確認していく。</p> <p>・株主は総会で議決権を持つほか、配当などによって利益の一部を得られる一方、倒産した場合は出資金を失う、有限責任があることにも着目させる。</p> <p>・生徒の回答を集約しながら、会計情報には「信頼性」が求められるということにつなげていく。</p> <p>・教科書の写真資料から、企業は利潤の追求だけでなく、社会貢献活動も行っていることに着目させる。</p>	<p>・デジタル教科書 p.141・④「財務諸表の種類と損益計算書」と、表計算ソフトに教科書の損益計算書と同じ数値を入れたものを、それぞれスクリーンに映し出す。</p> <p>・デジタル教科書 p.140・②「株式会社のしくみ」をスクリーンに映し出す。</p> <p>・デジタル教科書 p.141・⑤「ランドセルは海を越えて」、⑥「株主を招いて行われた、ぶどうの植え付け指導」をスクリーンに映し出す。</p> <p>・デジタル教科書 p.141「表現！」をスクリーンに映し出す。</p>
まとめ (10分)	<p>●CSRについて書いた説明文をグループで発表し合う。</p> <p>●挙手によって生徒に適宜発表させ、学習全体を振り返る。</p>	<p>・企業が社会の中で利潤を追求していくためには、「信頼性」を高めることが重要であることに気づかせる。</p>	

◆指導にあたって：

- 現行の学習指導要領では、「起業」とともに「会計」が初めて取り扱われた。本時では、株式会社のしくみとともに、「信頼性」が確保された会計情報が果たす役割について理解することをねらいとした。
- 株式会社は、株式市場や銀行から多額の資金調達を行うことから、財務諸表の作成・報告を通じて会社の健全性を示す社会的責任を負っている。財務諸表は、株主や債権者などの利害関係者が、投資や融資を判断する根拠として、企業の安全性や収益性、効率性、成長性などを読み取る資料である。そのため財務諸表には「信頼性」の確保が求められる。財務諸表の信頼性は、金融商品取引法や公認会計士法、会社法などの法律によって担保され、株式市場全体の信頼と活発な経済活動の実現につながっている。
- 本時では、財務諸表の内容には深入りせず、会計情報が確保する「信頼性」に視点を置き、生徒にとって身近な例をもとに展開しようとした。部活動の部費や町内会費など、「人々から集められたお金がどのように使われたのか」という説明責任は、「信頼性」や報告義務の観点から、株式会社の健全性を示すための説明責任に通じる部分があると捉えられる。私たちの暮らしと経済を成り立たせる一つの要素として、「信頼性」があることを理解させたい。

◆デジタル教科書活用のねらい：

- 資料4「財務諸表の種類と損益計算書」は、資料2「株式会社のしくみ」のどの部分に関連するか、スクリーンに映し出して、クラス全体で考えさせることをねらいとする。



財務諸表の種類と損益計算書の例

損益計算書

費用	金額	収益	金額
売上原価	1500	売上高	3600
給料	1000	受取手数料	400
旅費交通費	500		
通信費	300		
支払利息	200		
当期純利益	500		
合計	4000	合計	4000

表計算ソフトで数値を動かす

損益計算書

費用	金額	収益	金額
売上原価	1500	売上高	3600
給料	1000	受取手数料	400
旅費交通費	500		
通信費	300		
支払利息	200		
当期純利益	500		
合計	4000	合計	4000

材料費が上がれば、売上原価が上がるね。

テレワーク推進で交通費を減らし、通信費を100上げてみよう。

販売量が増えて売上高が上がった！広告宣伝費を入れれば、さらに売上高は上がるかな。

企業が利潤追求だけでなく、人々の支援を行っていることに気づかせる。

◆授業の改善案・さらに活用するポイント：

- 教科書 p.146「企業にチャレンジしてみよう」で「仮想の企業」をつくる際、表計算ソフトを使って損益計算書の費用を入力し、事業内容について他の生徒から評価された数に応じて売上高を増加させていく方法で、損益計算書をつくる活動に取り組むこともできるだろう。